

つくば日中協会ニュース

(筑波日中協会会報) 第5号

No. 5 (1998. 3)

発行：つくば日中協会

事務局：〒305-0023 茨城県つくば市上ノ室286-3 (戸田方)

TEL&FAX 0298-57-5860

桜の季節を迎え、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は、当協会がつくば市国際文化課のご協力を頂き、今年度から初めて取組み始めた「中国語講座」に関する講師の先生や受講生の有志の皆様のご感想、および、この一年間の主な活動内容などをまとめましたので、ご一読下さい。

会長：不破

1. 草の根の日中友好運動に感謝

つくば市長、つくば日中協会名誉会長 藤沢 順一

ご紹介いただきました、つくば市長の藤沢でございます。

本日は、あいにくの雨でございますが、桜も満開の素晴らしい季節の中、開催されました、つくば日中協会の総会にお招きいただき、まことに有り難うございます。

この会は、つくば市に在住されている中国のかたがたとの交流をはじめとして、訪中団の派遣など、思想・信条を越えた草の根の日中友好を実践している組織でありまして、国際都市つくばの市長として、心から感謝と敬意をお伝えしたいと思います。

今年は、日中国交回復から25周年の記念すべき年でもあり、両国の最高レベルの指導者が相互訪問することになったとも伝えられております。

改革開放政策のもと、中国は、今や、成長するアジアの中でも先頭に位置しており、とりわけ日中の友好善隣関係は、アジアの安定と世界平和のためには、是非とも維持、発展させなければならない重要なテーマでございます。

また、世界各地のさまざまな分野における中国の皆さんの活躍には、目を見張るものがあります。つくば市でも、在留外国人の数は5、500人を数え、その中で中国の方が第1位の約1、500人を占め、各分野で活躍されているようでございます。

こうした実状にかんがみ、わが国を代表する国際都市つくばとしても、その名に恥じない、充実した、そして心の通った地方自治体として国際交流、友好のための活動を、飛躍的に充実発展させていくために、現在、さまざまな施策を準備、検討しているところでございます。そのような意味からも、この会の皆様の自主的なご活動に対しては、つくば市の責任者として、大変ありがたく感じているところであります。

この機会をお借りして、日ごろからの皆様のご活動に改めてお礼を申し上げますとともに、つくば市の国際交流のための行政にも、折りに触れてお知恵をたまわりますようお願いして、簡単ではありますが、私のごあいさつといたします。

最後になりましたが、皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。

ありがとうございました。

(平成9年4月、つくば日中協会総会におけるご挨拶より)

2. 日中間に友情の橋をかけるために

電子技術総合研究所、つくば日中協会会長 不破 正宏

研究交流で知り合った中国の友人とのお付き合いを続けるうちに、多くの中国の方々ともお友達になり、皆さんが大変友好的で、友達関係を非常に大切にされていることを痛感しました。「私たちが求めるものは、物やお金ではなく、真の友情なのです。」という友人の言葉に痛く感銘して、つくば日中協会を設立して、もう4年が過ぎようとしています。

茨城県内の日中友好団体も茨城県日中友好協会という組織に一本化して、ご活動がされておられますが、当つくば日中協会は、日本人と中国人が協力し合いながら、友好関係を深め合うことを目的に、発会当初から、日本人と中国人が会員となり、お互いに役員を分担し合いながら、活動を続けてきています。特に、今年度は、つくば市国際文化課のご協力を頂きながら、中国人会員に講師をお願いして、中国語講座を開講することが出来ました。

講師の先生方の熱心なご指導と国際文化課の皆さんのご協力に心よりお礼を申し上げるとともに、受講生のみなさんの勉強ぶりに深い敬意を感じています。

私たちの小さな努力をたゆみなく続けることによって、日中間に友情の橋を架けるという大事業が息子や娘の世代に引き継がれることを願っています。

中国の友人からの手紙にも励まされながら・・・

让我们为中日两国人民之间的友谊和相互了解而共同努力吧！

(中日両国市民の友情と相互理解を深めるために、共に頑張りましょう！)

3. 中国語を教えてみて感じたこと

筑波大学大学院留学生・つくば日中協会幹事 杜 国慶

つくば日中協会の中国語講座で中国語を教え始めて、僅か6ヶ月間の経験ですが、いま、振り返ってみると、私の心には色々と、とても良い思い出が残っています。感想も沢山ありますが、主なものは以下の二つにまとめられると思います。

まずは、教えるのも勉強だということです。普段、母国語だから勝手に喋っている中国語も、それを教えるためには、発音も文法もきちんと標準的な中国語に直さなければならぬので、勉強になります。そして、受講生たちの要求と理解の程度に合わせて、どのように授業を進めていくべきか、皆さんに理解してもらうには、どのように日本語で表現するべきか、あるいは中国語をどのように日本語と関連付けるのが良いか、などと工夫しなければならないのも、一つの勉強です。以上の各側面から、教える立場に立っている私も、大変勉強になりました。

次に、日本の国際化の進歩が感じられました。これからの世界は、各々の国々が経済と社会の多種多様な側面で密接に結び付きあう国際社会になります。その目的を実現するため、国家の開放政策も重要ではありますが、国民の積極的な行動と意欲も大事なことだと考えられます。この講座では、中国語を勉強するだけですし、受講生たちの勉強の目的もそれぞれ違いますが、私がこの小さな窓口から強く感じたことは、日本の国民がもつ日本以外の世界、いわゆる外国への関心です。

日本へ留学に来て、もう4年目に入りました。この6ヶ月の期間はそれ程長いとは言えないと思いますが、私の留學生活の中では、本当に良い思い出になりました。

4. 中国語講座に参加して

中国語講座受講生有志

4.1 中国語との出会い

入門コース 中山 健司

私が中国語に興味を持ったのは、水墨画に手を染めてからでした。とくに、水墨画は、奥が深く、究極的には、自分なりの画論（＝自分なりの絵心）を持たねばならないことを自覚したからです。そのためには、中国の歴史を学び、風景を見ること、そして大事な中国画の歴代の画家達の画論を深く知ることです。画論に書かれている、細かなニュアンスは、水墨画を書くことはもちろん、言語を学ぶこと、そして、ネイティブな中国の人たちと接すること、などにより得られるのではないかと。そんな思いから入門コースに、まさに入門しました。講師の杜国慶先生の、こまやかなご指導で、中国語のニュアンスが少しずつわかってきたような気がします。

一昨年は、上海→黄山へ、昨年は、上海→武夷山へ写生旅行に行ってきました。さすがに黄山の景色はすばらしかった。

黄山的景色真是美极了！

黄山の景色そのものに、水墨画は負けてしまうくらいでした。もちろん、上海の熱気も好きです。

将来は、水墨画の故郷の中国で、個展を開きたいと思っています。

上海→杭州→南京→大連→北京→西安→敦煌の巡回展は、いかがでしょうか。

その節は、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今后、我想在中国举办个人巡回画展。请中国朋友们多多关照！

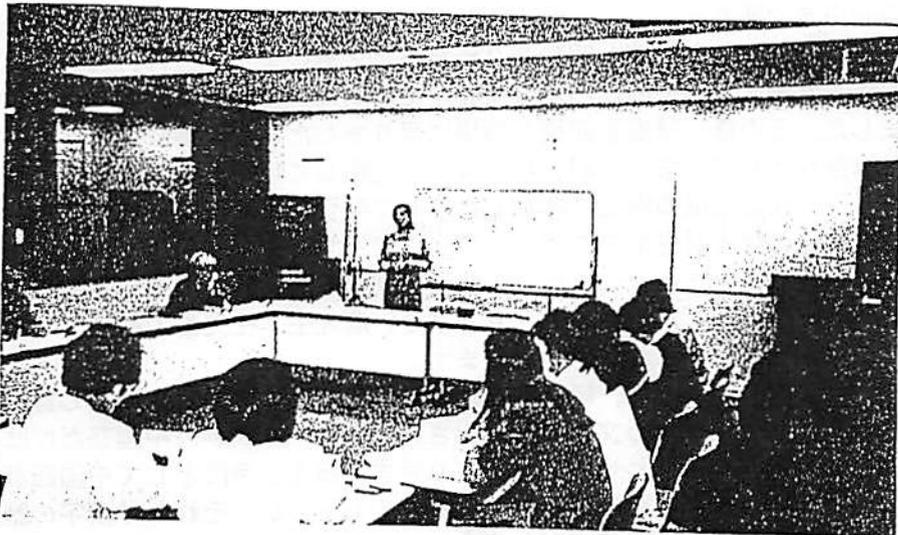


写真1：中国語講座（初級コース、講師は唐莉莉先生）
毎週、火曜日（初級コース）と金曜日（入門コース）に開講

4.2 中国語講座(平成9年6月13日~10年3月27日)に参加して

初級コース 橋本淳男

西安に語学留学している会社時代の友人の誘いもあり、また、書碑の宝庫である西安碑林博物館を一度は見ておきたいとの気持ちが強くなりながら、一方で言葉ができないでは後で悔いを残すと思い、まずは、言葉からとこの講座に参加いたしました。

講座はテキスト(白帝社 標準中国語 I)を中心に中国の日常の生活の話、日常会話もあって前半は唐莉莉先生、後半は杜国慶先生に真に丁寧に教えていただきました。

私には少し難しく思ったテキストでしたが先生方のお陰でテキストの20課の会話体の講義が私の中国語(初級)マスターのバックボーンになりそうです。講座を学んだことで中国への理解と気持ちも以前よりも深まりこれからの生活に生かして行きたいと思います。この講座をお世話くださいました不破様はじめ皆様方に感謝します。

4.3 感謝

島 博邦

一年間、楽しい講座に参加させて頂きありがとうございました。この講座で受けた深刻な印象は以下のとおりです。

第一は、恐ろしく聡明な、性格の異なる二人の老師の授業が飛び切り面白いことでした。

第二は、不破先生御夫妻の献身的なご努力のお陰で講座が成功したことでした。文化活動推進の尊いお姿に心底から佩服しています。

第三は、私自身、中国に対する理解をより深めることができたことでした。重ねてありがとうございました。

4.4 中国語を学んで思うこと

山本 茂

私は、旧制中学で漢文として学んだ中国語の古典をいつの日か中国語として読んでみたいと思っておりました。確か昭和32年だったと思いますが、NHKのラジオ中国語講座が始まりました。そのころ病氣療養中で時間に余裕がありましたので2年間ほど聞きました。その後、健康を回復し職場に戻りましたが、仕事に追われすっかり中国語には御無沙汰していましたが、平成4年に退職して時間ができたのでテレビの講座を見たり、公民館主催の講座に参加したりして学習を続けてまいりました。

一昨年、公民館の講座が先生のご都合で中止になってしまいました。何とか、続けたいと思っていましたところ、つくば日中協会が初級講座を開いてくださることを聞き参加させていただきました。この九ヶ月あまり、唐先生、杜先生の懇切なご指導により中国語の力がついたような気がいたします。

中国語を学んで感じたことは、ほかの言語は当然のことですが、先づ話し言葉があってそれを記録として残すため文字が考え出されたと思いますが、中国語だけは初めに漢字があり、それを組み合わせることにより意思を伝える手段として中国語が成立したように感じます。動詞の語尾活用がないからでしょうか。それだけ漢字の歴史の古さと中国文化の奥の深さを感じております。

5. 中国の著名書道家の講演会

つくば日中協会事務局長 戸田 雄三

中国遼寧省在住の著名な書家、李正中先生（76才）がつくば市に知人を訪ねられた機会に、当協会では、李先生にお願いして、6月4日、竹園公民館で書道についての講演会を開催した。李正中先生は、旧満州（現在の中国東北地方）の大同学院を卒業された関係で、茨城県にも知人が多く、つくば市の外、長野県の坂北村、明科町でも講習会、自筆の書の展示会などが催された。

竹園公民館には、つくば日中協会の人々、及び近隣の書道愛好家約30名が集まり、李正中先生のご講演後書道についての質疑応答が行われた。先生は講演会では、自分の書道学習の歴史、書道そのものについて話されたが、その要旨は次のようなものであった。幼児から親について書道を習い始め書道界の大家、孫曉野、王希哲先生から教えを受け15歳のとき始めて書道展に入選したが、国難のため約30年間書道を中止し、文筆活動に従事したが、晩年になって再度筆を執り書道に戻った。古人の書道芸術と詩文化を一体にする書道本流に従事し、例えば、「張猛龍碑」[張黒女墓志]などを何年間も繰り返して書き、一字一句胎んど百回、千回と練習した。私は紙を開いて筆を執って書くときには心の底から落ち着いて、悲しいこと、嬉しいことを全部忘れる。書道品を点検するたびに書道芸術の道の広大さを深く感じ、その中の二、三について理解できるような気がしてきた。数十年書道学習の結果、遠かった書の道を歩いて、最初はつきりしなかった考えがはつきりしてきた。また、うまく書くには、書に魂を入れて表すことだとわかった、と助言された。

なお、講演は、日本語でなされた。大同学院卒業とはいえ、日本語の記憶力は大変なもので出席者一同驚嘆した。ご講演から、文化大革命が中国の知識人をどんなに苦しめたかということが窺われ、また、講演後、出席者全員のために色紙を書いて贈呈していただき、参加者一同深い感銘を受けた。



写真2：中央、李正中先生、その右へ不破会長、長女李奇さん

6. つくば日中協会年忘れ交歓会報告

つくば日中協会幹事 川鍋 芳郎

つくば日中協会平成9年度の活動計画に基づいて年忘れ日中交歓会が平成9年12月23日、二の宮公民館ホールで、午後4時30分より6時30まで盛大に開催されました。

当日は、日中協会の会員の他、つくば市国際文化課との共催により開講した中国語講座の受講生の皆様及び中国人留学生の皆様と当交歓会に関心のある多数の方々が参加されました。

なお当日は、交歓会に先立ち、二の宮公民館一階調理室で（午後1時30分から4時30分）交歓会の準備を兼ねて日中の仲間が協力して、そば打ち、餃子作りなどをしました。ご協力ありがとうございました。

年忘れ日中交歓会では、川鍋幹事の司会のもと、不破会長の挨拶の後、来賓として、つくば市国際文化課課長の津田裕久様、筑波大学中国人留学生会会長、馬徳懐様のご挨拶を頂戴しました。

その後、王幹事長の音頭で乾杯した後は、日中の料理を味わいながら、しばらく歓談しました。その後、紹介コーナーとして、中国語入門コースを戸田事務局長、初級コースを鈴木幹事、筑波大学中国人留学生会を馬会長、つくば日中協会を不破会長がそれぞれの説明と出席者一人ひとりの紹介をしました。

最後の余興コーナーでは、中国語講師の杜国慶先生、唐莉莉先生を始め、多くの方が積極的に盛り上げていただき大変楽しい余興コーナーになりました。

年忘れ交歓会を通して多くの人と知り合い、理解しあい、そして、学び合うことができ、大変充実した楽しい交歓会でした。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。



写真3：年忘れ日中交歓会における紹介コーナー

付録A 平成9年度つくば日中協会役員名簿 (五十音順)

役職名	氏名	勤務先 自宅住所	勤務先電話 自宅電話
名誉会長	藤沢 順一	つくば市長 つくば市古来 458	0298-36-1111 0298-57-2014
顧問	兼平 英雄	つくば市議会議員 つくば市谷田部 3250-3	0298-36-1111 0298-36-0316
会長	不破 正宏	電子技術総合研究所 つくば市梅園 2-3-29	0298-54-5648 0298-51-7614
幹事長	王 学論	電子技術総合研究所 つくば市竹園 2-808-102	0298-54-5299 0298-55-5655
幹事	石 敏俊	筑波大学農林学系 つくば市並木 2-121-404	0298-53-4611 0298-52-8537
"	遠藤 誉	筑波大学留学生センター 国立市東 4-21-23	0298-53-2776 0425-76-7774
"	荻谷由紀子	つくば市社会福祉協議会 つくば市百家 713	0298-67-3453 0298-47-4770
"	川鍋 芳郎	つくば市金田 22-12	0298-57-5563
"	鈴木 貞男	鈴木理美容所 つくば市上郷 1713-2	0298-47-2765 0298-47-2765
"	杜 国慶	筑波大学大学院生 つくば市天久保 2-1-1 筑波大学平砂宿舎 3-116	0298-53-4451 0298-58-8081
"	杜 明遠	農業環境技術研究所 つくば市松代 5-502-303	0298-38-8205 0298-53-1426
"	戸田 雄三	つくば日中協会事務局 つくば市上の室 286-3	0298-57-5860 0298-57-5860
"	中嶋 利雄	つくば市教育相談センター つくば市手代木 590-3	0298-66-2211 0298-36-1199
"	冷岡 倍華	つくば市役所国際交流課 つくば市島名 1234-1	0298-36-1111 0298-47-1953
"	李 建華	建設省土木研究所 つくば市竹園 3-512-502	0298-64-2269 0298-51-7762
監事	伊藤 朗	筑波大学修士課程長 つくば市吾妻 4-209-402	0298-53-2620 0298-55-9783
"	唐 艶鴻	国立環境研究所 つくば市並木 2-212-202	0298-50-2426 0298-53-1259

事務局：〒305-0023 茨城県つくば市上の室 286-3 戸田雄三気付
つくば日中協会事務局
電話・FAX：0298-57-5860

7. つくば日中協会平成9年度活動経過および今後の活動予定など

つくば日中協会事務局

1. 平成9年度の総会とお花見会が1997年4月5日(土)に春日公民館で開催されました。総会には、名誉会長の藤沢つくば市長のご臨席を頂き、戸田事務局長の司会のもと、議事を進めました。藤沢市長のご祝辞、不破会長の挨拶の後、平成8年度の活動として、日中家庭料理の会、月例懇話会、お月見会、雲南地震復興義援バザー、忘年会、ホームスティなどの活動報告が行われました。苅谷会計担当より、会計報告がなされ、唐会計監査より会計監査の結果、会計処理上に問題がないことが確認されました。次に、苅谷会計による平成9年度の予算(案)と王幹事長による平成9年度の活動計画(案)及び年間活動スケジュール(案)の説明があり、すべて了承されました。お花見会は、当日小雨が降り始めたため、春日公民館の調理室で、準備した料理や飲み物などをつまみながら、窓越しに満開の桜を見て、まさに「花より団子」と、歓談を楽しみました。

当協会の初めての活動として、つくば市国際文化課との共催で、中国語講座を開講しました。中国人会員が喜んで講師を引き受けてくださり、入門コース、初級コースの受講生の皆さんも毎週熱心に、雨にも負けず、風邪にも負けず頑張っておられます。

中国の書道家・李正中先生のご講演会には、つくばの書道教室の関係者なども多数参加され、また、年忘れ日中交歓会も、中国語講座の受講生など、交流の輪が広がっています。

雲南地震への見舞金(8万円)に対するお礼状と東巴文字の掛け軸が雲南省婦人連合会代表より送られてきております。

つくば日中協会のホームページが、しばらく休止していましたが、1998年1月より、再開していますので、ご利用ください。

2. 別紙に案内の通り、つくば日中協会の平成10年度総会とお花見会を4月11日(土)の午前10時～午後2時に筑波大学のクラブハウスと桜の広場で開催します。

3. 平成9年度の会費を未納の方は、会費の納入をお願いいたします。年会費は、3,000円(一般会員)、または、1,500円(学生会員：研修生、留学生など)です。納入方法は下記の入会案内をご参照下さい。

<<入会案内>>

つくば日中協会に入会ご希望の方は、事務局に会員登録票を請求し、会員登録票に記入の上、年会費と共に提出下さい。

年会費納入方法は、直接、役員に届けるか、下記の振込口座をご利用下さい。口座名義は、「つくば日中協会」です。

郵便振込口座番号：00320-9-37492

常陽銀行口座番号：104-1202770(研究学園都市支店)

関東銀行口座番号：035-014793(研究学園都市支店)

<<問い合わせ>>

本会についてのお問い合わせは、事務局・戸田[電話：0298-57-5860(自宅)]、または、不破会長[電話：0298-51-7614(自宅)、0298-54-5648(勤務先)]か王幹事長[電話：0298-55-5655(自宅)、0298-54-5299(勤務先)]までご連絡下さい。

E-mail：fuwa@mxh.meshnet.or.jp(不破会長)、wang@etl.go.jp(王幹事長)

つくば日中協会ホームページ <http://www.geocities.co.jp/WallStreet/1702/>